

(第2号様式)

沖盲第1582号
令和7年 3月 7日

沖縄県教育委員会教育長 殿

沖縄県立沖縄盲学校
校長 新垣 ゆかり
(公印省略)

令和6年度県立学校学校評議員の運営状況について(報告)

令和6年12月11日付け教県第1582号により依頼のありましたみだしについて、下記のとおり報告します。

記

1 日時、場所、出席状況等

第1回	日時	令和6年7月2日	場所	沖縄盲学校視聴覚室	出席 状況	3名/4名出席
第2回	日時	令和6年12月19日	場所	沖縄盲学校小会議室	出席 状況	3名/4名出席
第3回	日時	令和7年3月6日	場所	沖縄盲学校小会議室	出席 状況	4名/4名出席

2 学校評議員に求めた事項

- ①学校評価(自己評価、保護者アンケート、児童生徒アンケート)の結果に関する意見
- ②学校における教育活動並びに進路状況に関する意見
- ③教育環境等に関する意見
- ④幼児児童生徒数減少への取り組み

3 学校評議員の意見

- ①働き方改革を推進しながら、幼児児童生徒の「基本的生活習慣の確立」及び「確かな学力」を育む教育活動を行って欲しい。
- ②専攻科卒業後の進路開拓(ヘルスキーパー等)を積極的に行って欲しい。
- ③幼児児童生徒数減少への取り組みとしては、マスメディアやSNSを活用して情報発信などを行う。
- ④専攻科校外実習では、地域住民が楽しみにしているので引き続き行って欲しい。
- ⑤引き続き、県内唯一の視覚特別支援学校としてのセンター的機能の充実及び情報発信を行って欲しい。

4 学校運営に反映した事項

- ①校務分掌や各種委員会の業務内容の見直し
- ②教育支援部を中心に眼科医院や関係機関へパンフレット配布やポスター制作を行い、本校への理解啓発活動を行った。
- ③引き続き、視覚特別支援学校としてのセンター的機能の充実(沖盲ふれあいデーの実施など)
- ④居住地校交流並びに学校間交流、地域交流の継続した実施
- ⑤食育(給食時間の指導を含む)の充実

5 課題その他

- ①本校赴任前に視覚障害教育について学ぶ場がなく、本校に赴任してきて始めた学ぶ先生方がほとんどで、専門性の現状維持も難しくなっている。
- ②幼児児童生徒数の減少への取り組みが必要である。